

## 大分大学との「手術中蛍光眼底造影装置」共同開発について

### ■目的・内容

蛍光眼底造影(※1)を必要とする手術(糖尿病網膜症や加齢性黄斑変性症など)の際に、眼球内へ生体にとって安全な強度のレーザ光を連続照射し、眼底疾患部分を可視化する装置(※2)の開発および医療機器としての実用化を目指します。これにより、手術中のリアルタイムかつ明瞭な蛍光眼底造影が可能になり、患者への負担の軽減や根治率の向上、手術時間の短縮を図ることを目的としています。

### ■特色・特徴

本事業は、独立行政法人 科学技術振興機構(略称JST)の「研究成果最適展開支援事業(略称A-STEP)本格研究開発ステージ・実用化挑戦タイプ(中小・ベンチャー開発) 平成21年度(第2回)」に採択された委託開発事業です。

### ■実施方法

JSTからの支援を受け、大分大学(工学部及び医学部)と西日本電線(株)が連携して、手術中蛍光眼底造影装置の実用化開発を行います。

### ■開発期間

平成22年7月1日～平成27年3月31日

### 【説明資料】

#### ※1 蛍光眼底造影

眼底部の循環状態を検査する血管造影検査で、網膜の検査に適する造影剤(フルオレセイン)を使用する造影法と網膜の奥に位置する脈絡膜の検査に適する造影剤(インドシアニングリーン)を使用する造影法がある。

#### ※2 手術中蛍光眼底造影装置(図1及び図2)

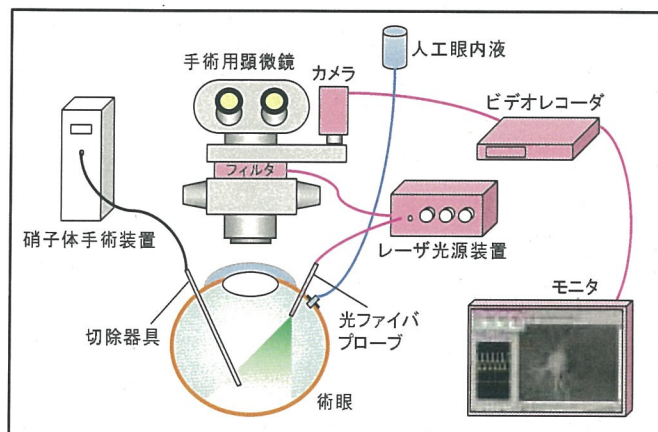


図1 装置概要

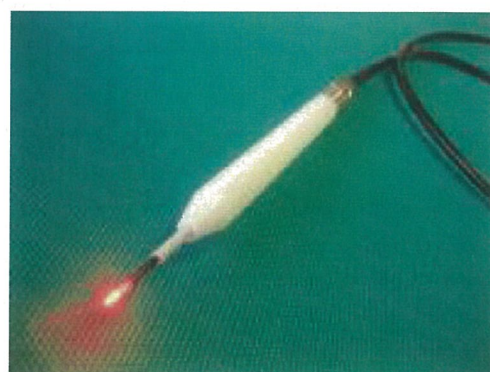


図2 光ファイバプローブ

### ■問合せ先

西日本電線株式会社 研究開発部 (担当:柴北、三谷)

TEL:097-537-5565

FAX:097-537-5592

E-mail:inform@nnd.co.jp